

令和3年度
課程認定校研究連絡会議

オンライン全国研究集会 報告書

公認指導者養成課程認定校研究連絡会議

全体報告



公認指導者養成課程認定校研究連絡会議
幹事長 / 仙台大学 教授

昨年に引き続きコロナ感染の影響を受け全国レクリエーション大会が中止となったため、我々の全国研究集会の研究発表を単独オンライン集会として実施させて頂きました。

日本レクリエーション協会の方々並びに課程認定校幹事会メンバーを含め、当日は概ね 70 名の参加がありました。研究発表は座長の取り仕切りにより進行され、3題の研究発表が活発な質疑応答を交えて行われました。

研究発表の後、今年は6ブロックそれぞれにブレイクアウトルームを設定し、各参加者が自分の所属するルームに入り、ブロックの幹事が司会進行を務め 50 分間で①初参加の先生もおられるので簡単な自己紹介、②コロナ禍でのオンライン授業の工夫や成功例の紹介、③ブロック研修会をどうするか、④その他の情報交換などを話し合いました。その後、全体のズームに戻り、司会進行を務めた各ブロック幹事が話し合いの内容を報告し、全体での情報交換が展開されました。このような流れはとても新鮮に感じましたし、今後も実施していくと良いと思いました。

来年度は、ぜひ対面での全国研究集会となることを期待しています。

実施概要

●主催

課程認定校研究連絡会議
公益財団法人 日本レクリエーション協会

●開催日時

2021年9月18日(土)
13時～15時30分

●開催形式

zoom

●出席者

72名

●タイムスケジュール

- 13:00 開会式
挨拶: 仲野 隆士 氏(課程認定校研究連絡会議 幹事長)
小田原 一記 氏(公益財団法人 日本レクリエーション協会 専務理事)
オリエンテーション: 築山 泰典 氏(課程認定校研究連絡会議 特任幹事)
- 13:10 研究発表
座長: 南條 正人 氏(課程認定校研究連絡会議 全国幹事)
発表者: 中井 聖 氏(大阪電気通信大学)
佐近 慎平 氏(新潟医療福祉大学)
本多理紗 氏(札幌国際大学)
- 14:15 情報交換会
座長: 築山 泰典 氏(特任幹事)
- 15:30 閉会式

研究発表

ウェブ会議システムを利用したオンライン・アイスブレイキング・ゲームのレクリエーション活動としての有用性と実施上の要点

ウェブ会議システムを利用したオンライン・アイスブレイキング・ゲームのレクリエーション活動としての有用性と実施上の要点

2021.9.18 令和3年度課程認定校研究連絡会議全国オンライン研究集会

○中井 聖 (大阪電気通信大学)
田中 真紀 (京都文教短期大学)
吉中 康子 (京都先端科学大学)
足立 名津美 (京都先端科学大学)



【発表者】

中井 聖氏(大阪電気通信大学)

[PDF ファイル](#)

←左の画像をクリックすると動画が視聴できます。

初等教育における主体的・能動的な学びによる

オリンピック・パラリンピック教育の開発

—レクリエーション指導／支援技術を活用したパラリンピック教育—

令和2年度研究助成事業
初等教育における主体的・能動的な学びによる
オリンピック・パラリンピック教育の開発
—レクリエーション指導／支援技術を活用したパラリンピック教育—

佐近慎平 (新潟医療福祉大学)、金子勝司 (大阪体育大学)
中曽根裕 (仙台青葉学院短期大学)、本多理紗 (札幌国際大学)
小池和幸、仲野隆士 (仙台大学)



【発表者】

佐近 慎平氏(新潟医療福祉大学)

[PDF ファイル](#)

←左の画像をクリックすると動画が視聴できます。

ネットワーク構築につながる健康体操教室の継続要因について

—長期継続している中高年者に着目をして—

ネットワーク構築につながる健康体操教室の
継続要因について
—長期継続している中高年者に着目をして—



本多理紗 (札幌国際大学)
金子勝司 (大阪体育大学)
佐近慎平 (新潟医療福祉大学)
中曽根裕 (仙台青葉学院短期大学)
橋浦孝明 (小田原短期大学)
蔵満保幸 (札幌国際大学)
新井 貴 (札幌国際大学)

【発表者】

本多 理紗氏(札幌国際大学)

[PDF ファイル](#)

←左の画像をクリックすると動画が視聴できます。

情報交換会

北海道・東北ブロック

○参加者:9名

白川和希 先生(釧路短期大学)／鈴木英悟 先生(函館短期大学)／田中一徳 先生(國學院大學北海道短期学部)／三國美香 先生(青森明の星短期大学)／仲野隆士 先生(仙台大学)／阿部秀樹 先生(東北文化学園専門学校)／南條正人 先生(東北文教大学)／高橋英成 先生(八戸学院大学短期大学部)／本多理紗 先生(札幌国際大学)

自己紹介や予定されているブロック研修会・次期幹事等の確認を行った。その後、各先生方の対象としている学生のコロナ禍における授業の工夫や苦労していること、特に成功事例等を挙げていただき共有した。

コロナ禍では実技系の授業は難しいことも多いが、映像や教材を残しておき活用することで、学生の理解を深めることができることやオンラインの授業でも適したレクリエーション活動(後出しじゃんけんなど)があったとの意見も挙げられた。また、年配の非常勤の先生方の授業が高齢者等のレクリエーション活動に特化してしまうため、学生がもの足りなさを感じてしまうことがある等の悩みに対し、意見交換等も行われた。

○進行・報告:本多理紗 先生

関東・甲信越ブロック

○参加者:7名

西島大祐 先生(鎌倉女子大学)／大橋信行 先生(帝京大学)／永吉英記 先生(国士館大学)／小林梨紗 先生(聖徳大学)／松尾哲矢 先生(立教大学)／篠原俊明 先生(共栄大学)／熊谷 圭介 氏(日本レクリエーション協会)

コロナ禍での授業として、オンラインの場合、レク材の経験やコミュニケーションの確保に困難さを感じているとの意見が挙げられた。一方で、反転授業やブレイクアウトルームのような小人数での討論の機会の設定など、オンラインならではの工夫を行っ

ている事例が報告された。また、参加者の多くの大学においてレクリエーション資格を取得する学生が少ない現状が報告され、その原因として資格取得の時期と就職活動の時期とのミスマッチ、レクリエーション資格の価値が学生にも大学にも認知されていないことなどが挙げられた。そのため、資格取得の時期の工夫や在学中には資格継続に費用が不必要とするなどの手立てが意見として挙げられた。

今後は、オンラインでの授業の取組事例の報告や資格取得を希望する学生を増加するための取組が求められる。

○進行:松尾哲矢 先生

○報告:篠原俊明 先生

東海・北陸ブロック

○参加者:10名

田島栄文 先生(名古屋経営短期大学)／兒玉友 先生(日本福祉大学)／井澤悠樹 先生(東海学園大学)／鎌倉博 先生(名古屋芸術大学)／中西純 先生(中京大学)／築瀬歩 先生(朝日大学)／辻岡 世紀子先生(福井県医療福祉専門学校・福井県レク協会)／宮田洋之 先生(中京大学)／小野隆 先生(名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学)／佐近慎平 先生(新潟医療福祉大学)

各先生より自己紹介をいただいたあと、コロナ禍でのレクリエーション教育授業について情報交換が行われた。なかでも現場実習についてはどの先生も関心が高く、現場実習に参加できない学生への対応として行われている読み替えの現状について共有されていた。

読み替えの手段として「指導案の作成」「違う学年を対象にレクの指導を実施」「お家で60秒チャレンジ等を活用」などの事例が報告され、それらをどのように評価していくのか、また、現場実習に相対する質の確保の必要性に話が及んだ。

愛知県下の課程認定校で勉強会や交流会の開催などの可能性について検討されるなど、コロナ禍ではあるが、今後もレクリエーション支援者の養成に熱意をもって取り組みたいという思いがあらわれた機会となった。

○進行:田島栄文 先生

○報告:佐近慎平 先生

近畿ブロック

○参加者:14名

中野友博 先生(びわこ成蹊スポーツ大学)／田中真紀 先生(京都文教短期大学)／久保和之 先生(龍谷大学)／玉井久実代 先生(大阪国際大学短期大学部)／金子勝司 先生・池島明子 先生(大阪体育大学)／奥野孝昭 先生(四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部)／池澤明日香 先生・由良和也 先生(神戸医療専門学校)／中井聖 先生(大阪電気通信大学)／辻慎太郎 先生(神戸医療福祉大学)／山本存 先生(甲南女子大学)／涌井忠昭 先生(関西大学)／高山昌子 先生(大阪国際大学)

自己紹介と各先生方のコロナ禍での授業の工夫や成功例などを挙げていただいた。コロナ禍において、対面授業や実技授業は難しいことも多くあったが、先生方が学びを止めないために様々な工夫を凝らして授業を展開されていることが共有できた。

オンライン授業では、新しく始めた活動を動画で撮影し提出する、自宅に籠ることがないように課題を活用して軽い運動をさせるように工夫したことなど、具体的な事例を説明してもらった。また、オンライン授業があったからこそ対面でのレクリエーション活動の良さがわかった。オンラインであってもコミュニケーションを深めることや空間を共有することが重要であるなどの意見が挙げられた。

困りごととしては、事業参加に関連する事業が中止になったこと、資格取得後にどのように活かすことができるのかが学生にはわかりづらいようであるといった意見も挙げられた。その後、近畿ブロック研修会を計画していることと次期幹事について連絡を行った。

○進行・報告:高山昌子 先生

中国・四国ブロック

○参加者:6名

近藤剛 先生(鳥取短期大学)／金弦敬子 先生(島根リハビリテーション学院)／岡山千賀子 先生(徳島文理大学)／森國夫 先生(四国医療福祉専門学校)／鎌谷眞里子先生(鳥取社会福祉専門学校)／小田原一記 氏(日本レクリエーション協会)

自己紹介の後、コロナ禍での授業の様子、工夫点等の情報交換を行なった。対面授業では接触を避けながらの実技の苦勞について、オンライン授業では使用教材の紹介があった。また、オンラインの場合理解度の把握が難しく評価がしにくいとの意見も出された。

現場実習については多くの学校で中止となり学ぶ機会を失っているが、地域との連携で実施にこぎつけた例も紹介された。また、この状況の中、学生の安易な遅刻欠席が危惧されないかとの意見も出された。

最後に今年度のブロック研修会、次期幹事県について確認を行い、情報の共有と課題に対するヒントを得る機会となった。

○進行：鎌谷真里子 先生

○報告：森 國夫 先生

九州・沖縄ブロック

○参加者：6名

コロナ禍における授業のあり方として、実技系はオンライン授業と対面授業が半々といった印象であった。対面授業では、従来の形での授業は難しく、人数制限、非接触、マスク着用などに対策を取る中で、レクの醍醐味である「コミュニケーション」の難しさを感じる声が多かった。オンラインでの授業では、内容に限界があり、授業の難しさを感じるものの、リモートでできるレク活動の考案や動画の制作など新たな発見もあったとの声が挙がった。

現場実習の現状の話題になり、イベント等の中止が続く中で、学内実習等、各校の工夫や苦勞がみられた。

最後は、2月末ごろ(日程は未定)に開催予定のブロック研修(オンライン研修)の案内をして情報交換会を終了した。

○進行・報告：竹森裕高 先生